

AI録音・文字起こし・要約利用同意書

本同意書は、会議、面談その他の会話に参加する者（以下「利用者」といいます。）が、当該会話を実施または管理する事業者もしくは団体（以下「実施者」といいます。）から、音声の録音ならびに人工知能その他の情報処理技術を用いた文字起こし、要約等について必要な説明を受け、その内容を理解したうえで、自らの意思により同意することを確認するためのものです。

第1条（適用範囲および利用目的）

- 1 本同意書は、対面、電話、オンラインその他の方法による会議、面談、取材、相談、研修、講義、商談、採用面談、カスタマー対応その他これらに類する会話（以下「対象会話」といいます。）の音声録音ならびに、録音音声を用いた自動文字起こし、話者の区分、要点整理、要約、議事録案、質問・回答、決定事項および対応事項の抽出その他これらに付随する処理（以下あわせて「AI処理」といいます。）に適用します。
- 2 対象会話の名称、日時、参加方法、録音・AI処理の有無、主な目的その他の個別事項は、日程案内、申込ページ、招待状、電子メール、通話案内、画面表示または開始時の説明等により実施者が案内した内容によるものとします。
- 3 実施者は、記録の作成、内容の確認、参加者への共有、連絡、業務の遂行、サービス品質の向上、教育・研修、問い合わせ・紛争対応その他事前に案内した目的のために、録音音声、文字起こし、要約その他AI処理による成果物（以下あわせて「記録等」といいます。）を利用します。案内した目的と実質的に異なる目的で利用する場合、実施者は、利用前に改めて説明し、必要な同意を得ます。

第2条（同意の任意性および代替方法）

- 1 録音およびAI処理への同意は利用者の自由な意思によるものであり、利用者は、対象会話の開始前に同意しない旨を申し出、または対象会話の途中で録音の一時停止もしくは終了を求めることができます。
- 2 実施者は、利用者が同意しない場合、手書きまたは通常の入力による記録、録音を行わない会話、録音対象外の時間または別の連絡方法等、目的および業務上合理的な範囲で利用できる代替方法を案内します。同意しないことのみを理由として、利用者を不当に不利益に取り扱いません。
- 3 サービスの提供、安全管理または法令上の記録義務等により録音が必要な場合、実施者は、その必要性、利用目的、利用できる代替手段および同意しない場合の取扱いを開始前に説明します。利用者は、その説明を受けたうえで、参加または利用を取りやめることができます。料金等の取扱いは、事前に案内された条件および法令に従います。

第3条（録音の開始、停止および対象）

- 1 実施者は、録音を開始する前に、音声、画面表示、録音表示その他認識しやすい方法で録音およびAI処理を行う旨を知らせます。録音は対象会話に必要な時間に限って行い、終了後は速やかに停止します。対象会話と無関係な私的会話または録音対象外と案内した時間を意図的に録音しません。
- 2 利用者は、録音の一時停止、特定の発言を記録から除外すること、または録音終了を求める場合、その旨を実施者へ申し出ることができます。実施者は、法令上または正当な記録保存上必要な場合を除き、申出後速やかに録音を停止し、除外を求められた部分を利用しません。
- 3 本同意は音声の録音およびAI処理を対象とし、利用者の映像、顔写真、画面共有内容または操作状況を録画して公開することを当然に含みません。これらを記録または公開する場合、実施者は、その目的、範囲および利用方法を別途説明し、必要な同意を得ます。

第4条(取得する情報および発言時の注意)

- 1 実施者が取得または作成する情報には、利用者の声、発言内容、発言時刻、話者区分、氏名・表示名・所属等の参加者情報、対象会話の日時・題名・参加履歴その他の会話情報ならびに、文字起こし、要約、議事録案、決定事項、対応事項、検索用情報および修正履歴等が含まれる場合があります。
- 2 実施者は、健康状態、病歴、障害、信条、犯罪歴、労働組合への加入その他取扱いに特に配慮を要する情報を、対象会話の目的に必要な範囲を超えて質問し、録音し、またはAIサービスへ入力しません。これらの情報を扱う必要がある場合、実施者は、必要性、利用目的、取扱範囲および保存方法を説明し、法令に従って必要な同意その他の対応を行います。
- 3 利用者は、対象会話の目的に必要な範囲で発言し、権限なく第三者の個人情報、秘密情報、営業秘密、未公表情報、著作物その他第三者の権利に関わる情報を開示しません。そのような情報が含まれた場合、利用者および実施者は、記録等を利用または共有する前に、削除、匿名化、マスキングまたは必要な許諾の確認を行います。

第5条(AI処理および外部サービスの利用)

- 1 実施者は、文字起こし、話者区分、要約、翻訳、検索、議事録作成その他第1条の目的を達成するため、実施者が管理するシステムまたは外部事業者が提供するAI・クラウドサービスを利用し、必要な範囲で録音音声、発言内容、参加者情報および記録等を当該サービスに送信し、処理し、または一時的に保存することがあります。
- 2 実施者は、利用するサービス、処理する情報、利用目的、AIモデルの学習・品質改善への利用の有無、主な保存期間、国外で処理・保存される可能性、再委託その他利用者の判断に重要な事項を、対象会話の案内、画面表示、利用規約またはプライバシーポリシー等の分かりやすい方法で、利用前に知らせます。国外で取扱いが行われる場合、実施者は法令に従い必要な情報提供その他の対応を行います。
- 3 実施者は、外部サービスの利用条件、データの利用範囲、保存・削除方法、安全管理、障害・漏えい時の対応等を確認し、目的に適したサービスおよび設定を選択します。契約または設定により可能な範囲で、入力情報が外部事業者の汎用的なAIモデルの学習または目的と無関係な品質改善に利用されないようにします。
- 4 録音音声、発言内容または記録等を、外部事業者の汎用的なAIモデルの学習、再学習または目的と無関係な品質改善に利用させることは、本同意の範囲に含まれません。そのような利用を予定する場合、実施者は、対象情報、利用者、目的、期間、提供先および撤回方法を説明し、別途、利用者の明確な同意を得ます。

第6条(正確性の限界および人による確認)

- 1 AI処理による文字起こしおよび要約等には、発言の聞き間違い、話者の誤認、固有名詞・数字・専門用語の誤変換、文脈の取り違え、重要事項の欠落、実際にはない内容の生成その他の誤りが含まれる場合があり、完全性または正確性が保証されるものではありません。
- 2 実施者は、契約条件、金額、期日、意思表示、健康・安全、権利義務、評価その他重要な事項に記録等を用いる場合、権限を有する者が録音音声、原資料または参加者の確認内容と照合し、必要な修正を行います。確認前の記録等を確定した議事録、本人の正式な発言または合意内容として扱いません。
- 3 利用者は、自らの発言に関する誤記、要約の誤りまたは重要な欠落を認識した場合、実施者が通常案内する方法により訂正または追記を申し出ることができます。実施者は、原記録および関係者の確認結果を踏まえ、合理的な期間内に必要な訂正を行い、既に共有した相手にも必要な範囲で訂正を知らせます。
- 4 実施者は、記録等のみを根拠として、採用・人事、信用、保険、医療、教育、福祉その他利用者の権利または重要な利益に影響する決定を自動的に行いません。AIの出力を評価または判断の参考に用いる場合、その旨を対象者へ知らせ、利用目的とリスクに応じて人が内容を確認し、対象者からの説明・訂正の申出に対応します。

第7条(記録等の利用および共有)

- 1 実施者は、記録等を、第1条に定める目的のため、対象会話の参加者、担当者、責任者、記録作成者、業務上必要な関係者および第5条の委託先に限り、役割に応じて必要な範囲で利用または共有します。共有する場合、閲覧者、共有範囲、ダウンロードの可否その他の権限を適切に設定します。
- 2 実施者は、記録等を対象会話の参加者へ共有する場合、第三者の個人情報、秘密情報、録音対象外とされた発言、不要な雑談その他共有の必要がない情報を確認し、必要に応じて削除、匿名化または編集します。利用者も、共有された記録等を対象会話の目的を超えて転載、公開または第三者へ提供しません。
- 3 記録等をWebサイト、SNS、広告、広報、報道、研究発表、教材の一般公開、お客様の声その他不特定または多数の者が閲覧できる用途に利用することは、本同意の範囲に含まれません。実施者は、そのような利用を行う場合、公開する内容、本人情報、媒体、期間および撤回方法を説明し、別途、利用者の同意を得ます。

第8条(本同意に含まれないAI利用)

- 1 利用者の声から本人認証用の声紋その他の生体情報を作成し、本人確認、識別または継続的な追跡に利用することは、本同意の範囲に含まれません。これらを行う場合、実施者は、その必要性、仕組み、保存期間および代替方法を説明し、法令に従って別途必要な同意その他の対応を行います。
- 2 利用者の声、話し方または発言内容から、感情、性格、健康状態、思想信条、能力、信用その他本人が明示していない属性を推定し、プロファイリング、監視、広告配信または評価に利用することは、本同意の範囲に含まれません。
- 3 利用者の声または発言を用いて、音声クローン、合成音声、アバター、本人が実際に述べていない発言、本人と誤認される画像・映像その他の生成物を作成し、または利用することは、本同意の範囲に含まれません。そのような利用を行う場合、実施者は、利用目的、生成内容、媒体、期間および本人確認方法を説明し、別途、利用者の明確な同意を得ます。

第9条(著作権、秘密情報および法令上の取扱い)

- 1 対象会話における利用者の発言、利用者が提供する文章、資料、画像、音声、作品その他の内容に著作権その他の権利がある場合、その権利は、別途譲渡の合意をしない限り、利用者または正当な権利者に留保されます。本同意により、記録等を第1条の目的で作成、複製、編集、共有および保存するために必要な範囲の利用が認められます。
- 2 AI処理により作成された記録等の権利関係は、法令、対象会話に適用される契約および利用したサービスの条件に従います。ただし、その権利の有無にかかわらず、実施者は、利用者の人格、プライバシー、秘密および本同意書で定める利用範囲を尊重します。
- 3 実施者および利用者は、対象会話に秘密保持契約、就業規則、職業上の守秘義務、裁判・調査手続、法定の記録義務その他特別な取扱いが適用される場合、当該義務を優先して確認します。本同意は、法令または契約により禁止された録音、入力、共有もしくは利用を認めるものではありません。

第10条(保存期間、安全管理および事故対応)

- 1 実施者は、録音音声および記録等を、第1条の目的、対象会話の性質、法令上の保存義務、権利管理ならびに問い合わせ・紛争対応に照らして必要な期間に限り保存し、必要がなくなった後、実施者の定める方法に従い削除または廃棄します。文字起こしまたは確認済み記録を保存すれば目的を達成できる場合、録音音声はより早く削除するよう努めます。
- 2 実施者は、記録等へのアクセス権限の制限、認証、通信・保存時の保護、操作記録、端末・アカウント管理、従業者への教育、委託先の選定・契約・監督その他、漏えい、滅失、毀損、不正利用または権限のない閲覧を防止するために必要かつ適切な安全管理措置を講じます。
- 3 記録等の漏えい、不正アクセス、誤共有その他利用者の権利利益に影響する事故が発生し、またはそのおそれがある場合、実施者は、事実確認、被害拡大防止、原因調査、再発防止、委託先との連携ならびに法令に基づく報告・本人通知その他必要な対応を行います。

第11条(訂正、利用停止、削除および同意の撤回)

- 1 利用者は、実施者が通常案内する問い合わせ方法により、自らに関する記録等の内容確認、訂正、利用停止、共有停止または削除を申し出ることができます。実施者は、本人確認を行ったうえで、法令、契約および正当な保存目的に照らし、合理的な期間内に必要な対応を行います。
- 2 利用者は、対象会話の開始前または録音中に同意を撤回できます。録音終了後も、将来のAI処理、利用または共有について同意を撤回できます。実施者は、撤回の申出を受けた後、新たなAI処理および目的内利用を停止し、法令上または正当な記録保存上必要なものを除き、管理可能な範囲で記録等を削除または利用対象外とします。
- 3 同意の撤回または削除の申出があった場合でも、申出前に適法に行われた処理の効力は遡って失われません。また、既に共有された記録、法令上の保存義務がある記録、監査・セキュリティログ、障害復旧用バックアップ、第三者が適法に保有する記録その他実施者が直ちに削除できないものは、完全な削除または回収ができない場合があります。実施者は、利用を制限し、保存期間経過後に削除する等の合理的な対応を行います。

第12条(責任の範囲および同意の確認)

- 1 実施者は、AI処理による記録等の完全性、正確性、特定目的への適合性または継続的な利用可能性を保証しません。ただし、実施者は、第6条に従い、利用目的および誤りによる影響の大きさに応じて、人による確認、訂正その他必要な措置を講じます。
- 2 通信障害、機器の不具合、外部サービスの停止、音質、話者の重なりその他実施者が管理できない事情により、録音またはAI処理が完了しない場合があります。実施者は、状況に応じて、再確認、手作業による記録または別の方法への切替え等の合理的な対応を行います。
- 3 本同意書は、実施者の故意または過失により利用者に生じた損害について実施者が負う責任を免除するものではなく、個人情報保護法、消費者契約法その他の法令により認められる利用者の権利を制限するものでもありません。
- 4 利用者は、本同意書および実施者からの案内を確認し、不明点を質問する機会を得たうえで、その内容を理解し、自らの意思により録音ならびにAI処理および定められた範囲での記録等の利用に同意します。電子的に同意する場合、実施者は、同意者の氏名、連絡先、同意日時、対象文書の版および同意操作に関する記録を保存します。

以上

私は、上記各条項を確認し、録音ならびにAIを用いた文字起こし・要約等の利用に同意します。

同意日: ____年 ____月 ____日

利用者氏名(署名): _____